

## シラバス (介護職員基礎研修・実習)

指定番号 \_\_\_\_\_ 課程 介護職員基礎研修課程  
 法人・団体名 株式会社 松島紙店  
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目免除型(II)(350時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(11) 実習	
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス施設・事業所における各職種の業務内容、連携、介護過程の管理・ケアマネジメントのための記録・会議・連携等の仕組み・実態等について体験し、チームケアの重要性とチームケア推進における介護職員の役割・姿勢・業務の実態を理解する。</li> <li>・介護過程を踏まえた基礎的な介護業務を体験することで、介護の目的・機能、利用者や家族とのかかわり方、コミュニケーションのあり方について体験的に理解を深めるとともに、介護の基本的な理念（尊厳、自己決定、人権擁護、自立支援、その人らしさの尊重、地域のなかでの暮らし等）と介護過程の考え方が、実践の中でどのように生かされているかを学ぶ。</li> <li>・在宅や施設等における利用者の生活を知ることで、利用者・家族についての理解を深める。</li> <li>・各施設・事業所の役割、地域の社会資源等を知り、地域ケアシステムにおける介護サービス施設・事業所の役割を学ぶ。</li> </ul>	
項目記号・項目名	時間数・日数	目標・演習内容・実習プログラム等（別紙でも可）
(A)事前演習	12時間 (2日)	<p>《目標》・実習を円滑に実施するため、研修事業者において、実習の目標、スケジュール、留意点等についてオリエンテーションを行い、実習の課題・問題意識を形成する。</p> <p>《内容》・演習等により、基本的な介護技術の習得の有無を確認するとともに、事故防止の留意点を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習記録の書き方を理解させる。</li> </ul>
(B)施設・居住型実習	80時間 (10日)	<p>《目標及び実習実施内容》・介護にあたっては、利用者の個性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。</p> <p>また、介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。</p>
(C)通所・小規模多機能型実習	32時間 (4日)	<p>《目標及び実習実施内容》・通所系サービスの機能・内容、および他の居宅サービスとの連携を理解できるよう留意する。</p> <p>・介護にあたっては、利用者の個性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。</p> <p>・また、介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。</p>
(D)訪問介護実習	8時間 (1日)	<p>《目標及び実習実施内容》・訪問介護サービスの機能・内容、および他の居宅サービス、関係機関との連携や、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。</p> <p>・関係機関との連携や、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。</p> <p>・利用者を取り巻く家族関係を理解し、配慮することの重要性を理解させる。</p> <p>・在宅の生活、利用者の日常生活の多様性、および介護の工夫の現状と自立に向けた支援の考え方について理解できるよう留意する。</p>
(E)地域の社会資源実習	4時間	<p>《目標及び実習実施内容》・社会資源活動を行っている施設の見学や訪問を行う等により地域全体の社会資源、サポートシステムについて、理解できるよう留意する。</p>
(F)事後演習	12時間 (2日)	<p>《目標》・個々人に実習の経験・気づき、自己の介護観等をまとめさせるとともに、個々人の経験を比較・相対化し、学びの共有化、意味付けを行う。</p> <p>《内容》・介護の現場における理想と現実の違いについて理解・認識を促す(例：現場で「できていないこと」を責めるのではなく、どのようにしてできるようにしていけるかを自分なりに考える機会にさせるなど)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習は介護の現場を体験的に理解する場であり、その経験がすべてではないことを理解させること。</li> <li>・介護行為の根拠となっている知識や基本的な介護技術を再認識させる。</li> </ul>
(合計時間数)	148	

※ 時間数・日数については、別紙1に定めるもの以上とすること。